



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日
東

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所
コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,207	△6.1	1,192	△19.9	2,218	107.3	1,422	141.3
27年3月期第1四半期	13,007	6.3	1,489	△14.6	1,069	△71.7	589	△78.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,514百万円(207.8%) 27年3月期第1四半期 491百万円(△85.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	41.58	—
27年3月期第1四半期	17.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	126,217	99,094	78.4
27年3月期	126,987	98,179	77.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 98,899百万円 27年3月期 97,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	17.50	32.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	15.00	—	22.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
28年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当20円00銭 記念配当2円50銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	△10.8	2,800	△8.0	3,000	△31.5	2,000	△33.4	58.45
通期	51,000	5.5	7,000	21.8	7,500	△11.5	5,000	37.1	146.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	36,600,000株	27年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,381,436株	27年3月期	2,381,276株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	34,218,638株	27年3月期1Q	34,219,799株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における経済の動向は、米国では雇用の改善を背景に個人消費が拡大するなど、堅調な状況が続いていますが、欧州では緩やかな回復傾向を示す一方で、ギリシャの債務問題が先行きに不透明感を与えています。また、中国においては不動産市場の低迷や、株式市場の大幅な下落など景気の減速傾向が続いています。わが国においては、個人消費が持ち直し、企業収益の改善により設備投資が回復するなど、緩やかな景気拡大基調が続いています。

このような経済情勢の中、当社グループは世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。中でも先進国市場に対しては、積極的に個展を開催し、世界で初めて可動型シンカー装置を搭載した4枚ベッドのホールガーメント®横編機の新製品「MACH2XS」と「SDS-ONE APEX3」の連携による革新的な消費地型生産体制の提案活動に注力しました。

コア・ビジネスである横編機事業においては、ホールガーメント®横編機の主力市場である欧州では、景況感が低調な中でも、イタリアを中心に付加価値の高い商品開発で打開を図る動きが見られ、「FIRST」「MACH2X」シリーズなどのホールガーメント®横編機や、織物のような風合い表現が可能な「SRV」の販売が伸長し、今後の「MACH2XS」の拡販に期待が膨らみました。また近年設備投資が急速に拡大しているバングラデシュやASEAN諸国では、前年同期に比べるとややペースダウンしたものの、コストパフォーマンスに優れた「SSR」や、さらに生産効率を高めた「SVR」を中心に堅調な売上となりました。一方、中国市場では、一部では内需向け生産への転換が進んでいるものの、輸出の減少や人件費の上昇でユーザーの事業環境は厳しさを増しており、全体として設備投資は弱い動きとなりました。国内市場においては新製品への関心は高まっていますが、設備投資マインドが慎重で、コンピュータ横編機の売上は低調となりました。これらの結果、横編機事業全体では売上高は93億12百万円（前年同期比11.2%減）と減少しました。

デザインシステム関連事業においては、「SDS-ONE APEX3」は、前年同期並みの売上でしたが、自動裁断機「P-CAM」の海外販売が増加したことなどで、売上高は8億88百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

手袋靴下編機事業はアジア市場を中心に、売上高は3億91百万円（前年同期比3.8%減）とほぼ前期並みとなりました。

その他事業につきましては、部品販売やカシミア糸販売が堅調で、売上高は16億15百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期全体の売上高は122億7百万円（前年同期比6.1%減）となりました。利益面におきましては、売上総利益は前年同期並みでしたが、販売費及び一般管理費が増加したことで営業利益は11億92百万円（前年同期比19.9%減）となりました。一方、営業外で為替差益7億46百万円（前年同期は為替差損6億40百万円）が発生したことで経常利益は22億18百万円（前年同期比107.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億22百万円（前年同期比141.3%増）と増加しました。

*ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は現金及び預金の減少などで前期末に比べ7億70百万円減少し、1,262億17百万円となりました。負債合計は支払手形及び買掛金の減少などで前期末に比べ16億85百万円減少し、271億22百万円となりました。

また自己資本の額は、988億99百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて1.2ポイント上昇し78.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月1日に発表しました平成28年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。「以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以降実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,512	11,747
受取手形及び売掛金	52,578	54,097
有価証券	60	60
たな卸資産	18,676	18,032
その他	3,572	4,530
貸倒引当金	△1,295	△1,516
流動資産合計	88,104	86,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,486	5,384
土地	10,891	10,891
その他(純額)	3,635	3,582
有形固定資産合計	20,013	19,859
無形固定資産		
のれん	5,040	5,022
その他	116	113
無形固定資産合計	5,157	5,135
投資その他の資産		
投資有価証券	7,735	9,091
退職給付に係る資産	650	676
その他	8,994	8,573
貸倒引当金	△3,668	△4,070
投資その他の資産合計	13,711	14,270
固定資産合計	38,882	39,265
資産合計	126,987	126,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,384	4,737
短期借入金	6,250	6,249
未払法人税等	1,859	1,097
賞与引当金	793	1,598
債務保証損失引当金	627	518
その他	4,134	4,232
流動負債合計	20,050	18,433
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
長期未払金	1,087	1,071
リース債務	1,071	1,059
退職給付に係る負債	1,068	1,072
その他	529	485
固定負債合計	8,756	8,688
負債合計	28,807	27,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	72,975	73,799
自己株式	△6,906	△6,906
株主資本合計	102,653	103,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	835	1,071
土地再評価差額金	△7,004	△7,004
為替換算調整勘定	1,311	1,176
退職給付に係る調整累計額	188	179
その他の包括利益累計額合計	△4,668	△4,576
新株予約権	180	180
非支配株主持分	14	14
純資産合計	98,179	99,094
負債純資産合計	126,987	126,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	13,007	12,207
売上原価	7,250	6,506
売上総利益	5,757	5,701
販売費及び一般管理費	4,268	4,508
営業利益	1,489	1,192
営業外収益		
受取利息	92	127
受取配当金	69	111
為替差益	-	746
その他	126	97
営業外収益合計	289	1,082
営業外費用		
支払利息	31	27
為替差損	640	-
その他	36	30
営業外費用合計	708	57
経常利益	1,069	2,218
特別利益		
投資有価証券売却益	61	-
特別利益合計	61	-
特別損失		
減損損失	26	-
特別損失合計	26	-
税金等調整前四半期純利益	1,105	2,218
法人税、住民税及び事業税	484	949
法人税等調整額	30	△154
法人税等合計	515	794
四半期純利益	589	1,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	589	1,422

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	589	1,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	235
為替換算調整勘定	△146	△135
退職給付に係る調整額	△8	△8
その他の包括利益合計	△98	91
四半期包括利益	491	1,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491	1,514
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,490	685	407	11,582	1,425	13,007
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,490	685	407	11,582	1,425	13,007
セグメント利益	2,468	149	65	2,683	135	2,818

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,683
「その他」の区分の利益	135
全社費用(注)	△1,329
四半期連結損益計算書の営業利益	1,489

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,312	888	391	10,592	1,615	12,207
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,312	888	391	10,592	1,615	12,207
セグメント利益	2,096	180	72	2,348	185	2,534

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,348
「その他」の区分の利益	185
全社費用(注)	△1,341
四半期連結損益計算書の営業利益	1,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	7,630	92.6%	2,979	54.3%
デザインシステム関連	786	103.5%	326	105.0%
手袋靴下編機	687	79.3%	434	64.6%
合計	9,104	92.3%	3,741	57.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	9,312	88.8%
デザインシステム関連	888	129.6%
手袋靴下編機	391	96.2%
その他	1,615	113.3%
合計	12,207	93.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。